

2017
No. 307
9

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ふくし“きらり人。”
スタート!



ふくし“きらり人。”第1号になった岩田明日香さん（県立古河第二高等学校福祉科3年）

Contents

2 ～ 3

・教育支援資金のご案内
・社会福祉事業従事者研修 ほか

4 ～ 5

特集

福祉未来創造会議について
～“新しい幸せの形作り”へのアプローチ～

6 ～ 7

地域福祉活動レポート
多世代交流サロン「つむぎ」（守谷市）

8 ～ 9

ふくし“きらり人。”
任命第1号!岩田明日香さん

10

市町村社協職員リレートーク

11

information

12

わかち合おう小さな善意

ふくし“きらり人。”とは—
福祉の仕事に対するイメージ
アップを図るため、福祉施設や
事業所で働く方や福祉を学ぶ
学生のうち、きらりと輝く人物
を“きらり人。”として任命し
ます!今後、“きらり人。”には、
県社協の実施する事業を通じ
て福祉の魅力を伝えていただ
く予定です。

はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラク
ターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉
協議会を中心に活躍しています。今年で20年目を迎えました。



社会福祉
法

ふれあいネットワーク

茨城県社会福祉協議会

各種事業などのご案内

● 将来の夢に向かって進学される方を応援しています～教育支援資金貸付制度のご案内～ ●

県社協では、低所得世帯を対象に、高校、専門学校、短大、大学等に進学される際の費用を、無利子で貸付けています。

「将来の夢があり進学したい（させたい）、けれど学費を支払うことが難しい…」と進学を断念される前に、お住まいの市町村社協へ教育支援資金貸付制度についてご相談してください。



《教育支援資金貸付制度の内容》

資金種類	対象世帯	貸付限度額	据置期間	償還期限	貸付利子
教育支援費	低所得世帯※1	高校 月額 35,000 円※2 高専 月額 60,000 円※2 短大 月額 60,000 円※2 大学 月額 65,000 円※2	学校卒業後 6 月	20 年	無利子
就学支度費		500,000 円			

● 《教育支援資金よりも優先される奨学金のご案内》 ●

※教育支援資金貸付制度との併用貸付可

【実施主体】独立行政法人日本学生支援機構

【奨学金制度】①給付型奨学金制度 ②第一種奨学金制度（無利子）

【問合せ先】在学している学校の担当課

※1…独立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難であり、所得基準が生活保護法にいう生活扶助基準の概ね 1.7 倍以内の世帯

※2…教育支援費については、特に必要と認める場合、上記貸付限度額の 1.5 倍までを上限とすることが可能です。

● 成年後見制度をご存じですか？ ●

病気やけが・障害・高齢により判断能力が不十分になった場合、自分ひとりでは適切な法律行為を行うことが難しくなることがあります。

例えば、銀行に預けている自分の預金を払い戻す際にも、判断能力が不十分な状況では、自分ひとりで手続きができない場合があります。また、悪質な訪問販売に騙されて、契約内容をよく理解できないまま、高額な商品を買わされてしまうという被害にあうこともあります。

成年後見制度は、こういった状況にある方を法律面や生活面で支えるための制度です。

援助者については、ご本人の判断能力の状態に応じて「後見人」「保佐人」「補助人」と分かれおり、家庭裁判所が適切な援助者を選びます。

後見	しっかりしている時がほとんどなく、契約等の判断を代わりに判断する人が必要 成年後見人 本人に代わり契約や財産管理をします。
保佐	しっかりしている時もあるが、契約の内容を理解できないことが多い 保佐人 本人の行為について同意・取消をするなどの支援ができます。
補助	通常の行為は自分でできるが、重要な行為は支援が必要 補助人 支援される方（被補助人）が定めた範囲による支援を行います。

● 成年後見相談会開催のお知らせ ●

成年後見センター・リーガルサポート茨城支部との共催により、成年後見相談会を開催いたします。

日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）
10 時～15 時

会場：水戸・日立・古河・鹿嶋・つくば
みらい・つくばの 6 会場（予定）。
事前予約制。相談は無料です。

問 リーガルサポート茨城
TEL：029-302-3166

茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度改正のご案内

県社協では、民間社会福祉施設職員の福利増進を図り、社会福祉事業の振興に寄与するため、加入職員が退職した際に退職金を給付する退職手当支給事業を、昭和47年3月より運用してまいりました。

しかしながら、公務員や福祉医療機構の退職金制度が改められる中で、本制度の給付金の配分について、いくつかの課題も生じていたことから、他県の状況を調査したうえで、平成27年度より検討委員会を設置し、課題解消に向けた検討を行った結果、平成30年4月1日より制度改正を行うことといたしました。

改正の内容等につきましては、下記日程で開催される制度改正説明会にご参加いただくか、問い合わせ先までご連絡ください。

制度改正説明会日程

開催日	会 場	所在地	定 員
10月 3日（火）	茨城県立県民文化センター 集会室8号	水戸市	100名
10月10日（火）	つくば国際会議場 201号室	つくば市	126名
10月11日（水）	四季文化館みの〜れ 風のホール	小美玉市	130名

問 福祉事業部 TEL：029-244-3147

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業のご案内

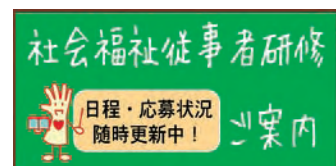
「福祉施設職員等研修ガイド」（平成29年10月～12月開催予定分）

10月	17日～18日	カウンセリング研修 ～自分自身の感情の動きを洞察しよう～
	20日	看護職員研修 ～感染症に対しての知識が得られ、対策ができるようになる～
	24日～25日	コーチングスキル研修 ～部下の自立的行動をサポートするスキルを身に付けよう～
11月	6日・17日	発達障害研修【子どもの支援編】 ～発達が気になる子の身体的理由と支援方法を学ぶ～
	10日	アンガーマネジメント研修B ～自分の怒りと向き合いよりよい人間関係を作ろう～
	24日	生活対応力向上研修 ～社会人として身につけておくべきことを学ぶ～
	27日～28日	相談援助業務担当者研修【中堅コース】 ～社会資源の開発方法を学ぶ～
	30日	保育担当職員研修 ～こどもと楽しむ遊びのタネを吸収する～
12月	12日	中堅職員研修B ～中堅職員に必要な自己覚知・部下の指導方法を学ぶ～
	13日	エピベン講習会 ～アレルギーエドゥケーターから実践演習で学ぶ！～
	30日	クレーム対応力強化研修B ～ヒューマンサービスを習得する～

※県社協会員の方は、優先的に研修申込みできます！ふるってご参加ください。

※県社協のホームページで詳しく案内しております。トップページの右欄

[社会福祉事業従事者研修のご案内](#) をクリック☆



新規研修の紹介—エピベン講習会—



この講習会では、小児アレルギーエドゥケーターを講師に迎えて、エピベントレーナーを実際に使用した演習中心の講習会です。少人数の募集のため、お早目にお申込みください。10月頃にご案内いたします。

エピベンとは???

アナフィラキシーが現れた時に使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）です。



↑ 普段の研修の様子

特集

福祉未来創造会議について

福祉未来創造会議のはじまり

現在、地域社会には少子高齢化をはじめ、高齢者などの単身世帯、ひとり親世帯の増加といった世帯構成の変化、高齢者の社会的孤立や子育ての孤立化など、様々な変化と生活課題があります。これらの多様化する生活課題に対して、関係機関・団体・住民を含めた連携体制が必要であるといわれています。

しかし、地域には、それぞれ社会資源があり、同じ生活課題であっても、地域によって課題解決までの方法は異なります。

そこで、県社協では県域全体ではなく、一つの地域を選出し、その中でアンケート調査や会議等を行い、その“ノウハウ”を市町村社協に提供することで、地域福祉の推進に活かしていくこととしました。

「ポスト・ベッドタウン」の中での、“新しい幸せの形作り”へのアプローチ

地域の選出にあたり県社協では、今後支援が必要になると予想されるベッドタウン（郊外型住宅地）に注目をいたしました。茨城県内においても、約40年前から多くのベッドタウンと呼ばれる団地やニュータウンが各地にでき、また、現在も多くの地域で宅地開発が進められています。

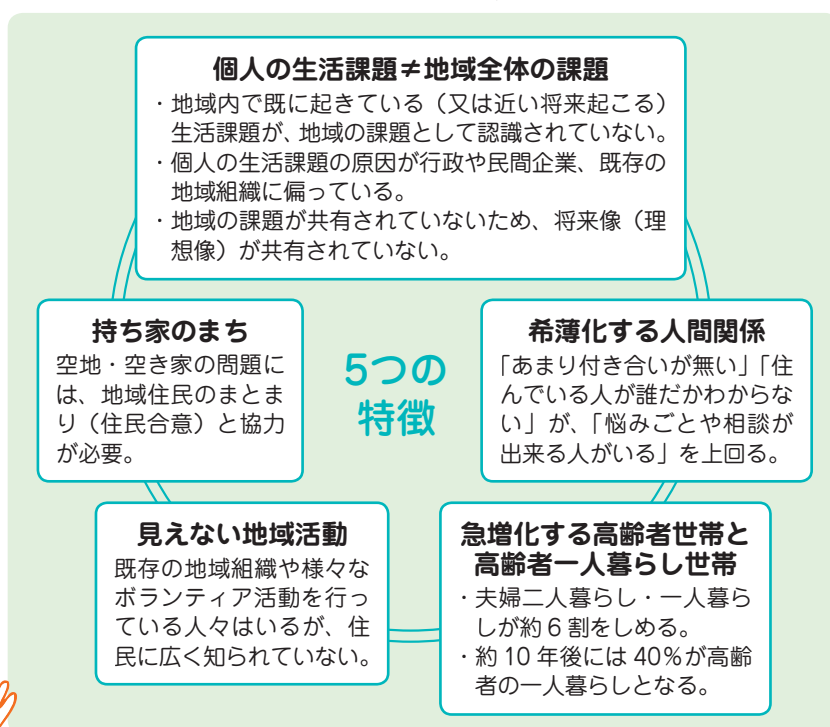
40年前、ベッドタウンは理想のライフスタイルであり、一つの幸せの形でした。しかし、現在、この時期に造られたベッドタウンの多くは、子育て世帯の減少や、高齢者世帯の増加等、出来た当時と比べ地域を構成している世帯構成が大きく変化しています。そして、世帯構成の変化による地域機能の低下や、生活インフラの老朽化、高齢化した住民のライフスタイルとのミスマッチが、ベッドタウンでは生じています。

今後は、これらの事情を踏まえ、ベッドタウンの次の段階である「ポスト・ベッドタウン」の中で、どうやってその地域の特色にあった「新しい幸せの形」を作るか、そして、誰が、どうやって、住民同士をつなげていくかが課題となっています。

コラム1 ポスト・ベッドタウンって何？

ポスト・ベッドタウンとは、住むこと・働くこと・育てること・遊ぶことなどが空間的に分離されたベッドタウンの変容が迫られた地域社会を、改めて再構成することです。問題の解決の基本方向は、これまで“地域住民”の主役だった人々以外の人々が、いかにその地域で生きていけるかという問題を地域として考えることといわれています。

図1 地域の特徴



課題はある。だけど、生活課題が共有化されていない！

県社協では、水戸市社協と該当地域の支部の皆様にも大変ご協力をいただき、県内でも先駆けて創設された団地の住民に対するアンケート調査を実施しました。より地域の課題や社会資源の現状がわかるよう、地域住民である支部の役員の皆様からご意見をいただき、また、地域住民と学識経験者、社会福祉施設管理者、水戸市社協職員から構成された会議を開き、アンケート項目の検討やアンケートの調査結果の協議を行いました。アンケート分析では、単純集計のほかクロス集計、自由記述からの分析を行うことで、地域の特徴（図1）と課題（図2）が出てきました。

～“新しい幸せの形作り” へのアプローチ～



この地域は、県内でもボランティア活動、地域や福祉活動に熱心に取り組んでいる方が多くいましたが、意外なことに、生活課題がすでに地域内で生じているにもかかわらず、その課題や将来像が共有化されていないという結果が現れました。

今回の結果から浮かび上がったものは“日本の典型的”なベッドタウンの特徴や課題であることから、ポスト・ベッドタウンの中での“幸せの形”を“住民主体で考える仕組み”を考えることが必要となりました。

そこで、県社協は課題への対策として「地域の情報の共有化」への対応案として「集まる・知る・共感する・考える・行動する」のサイクル（図3）の提案をいたしました。

図2 地域の課題

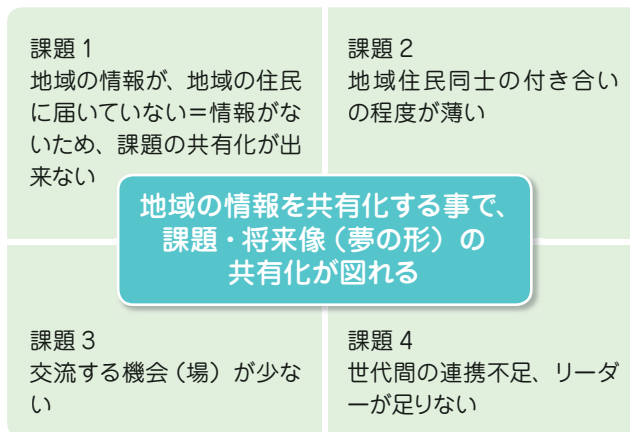
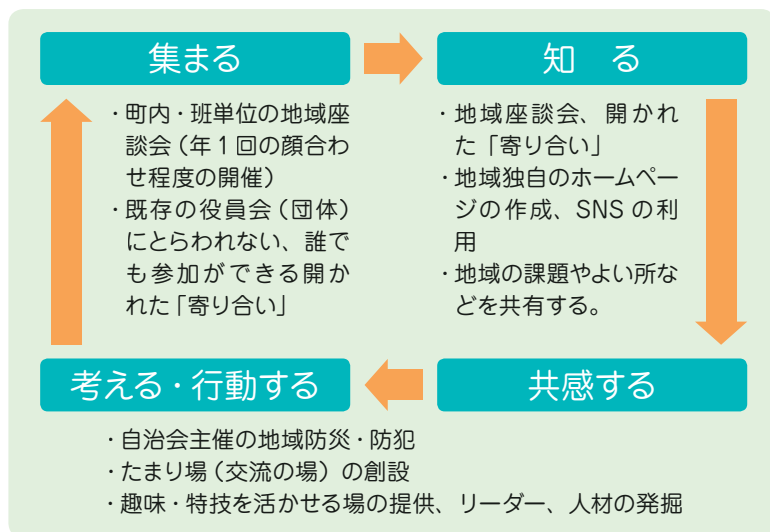


図3 「集まる・知る・共感する・考える・行動する」サイクル図



地域に開かれる、社会福祉施設

住民向けアンケートと同時に、県社協では水戸市内の社会福祉施設を対象にした「施設における社会資源及び地域貢献に関する」アンケート調査を実施しました。こちらのアンケートでは、社会福祉施設における地域貢献の実施やその内容、地域のボランティアの受け入れのほか、今後の地域へのかかわり方についての調査を行いました。

社会福祉施設、特に社会福祉法人については、平成29年4月1日に施行された改正社会福祉法において、社会福祉事業及び公益事業を行うにあたり、無料又は低額な料金を福祉サービスを提供することが責務として規定されました。

現在も多くの社会福祉法人・社会福祉関係施設において、様々な社会貢献が各地で行われていますが、今後は更に社会福祉施設が地域に開かれ、地域に新たなつながりの形や居場所ができる可能性があります。

コラム2 改正社会福祉法って何？

社会福祉法人制度の大改革と呼ばれる改正社会福祉法が平成28年3月31日に成立、同日公布され、平成28年4月1日（一部は平成29年4月1日）に施行されました。今般の改正内容は、大きく、社会福祉法人制度の改革と福祉人材の確保の促進に分けられます。社会福祉法人制度の改革では、

- ①経営組織の在り方の見直し ②事業運営の透明性の向上 ③財務規律の強化
- ④地域における公益的な取組を実施する責務の規定 ⑤内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下 ⑥行政の関与の在り方となっています。

今後について

県社協では、今回のノウハウ（アンケート項目や分析方法）を、各市町村社協へ周知し、より地域の特色にあった福祉のまちづくりの推進に寄与し、今後必要となってくる“住民主体”による“住民による福祉のまちづくり”において、協力をしていきます。



多世代交流サロン「つむぎ」

市民大学で気付かされた世代間交流の重要性

核家族化をはじめとする、社会構造の変化により、地域住民のつながりが希薄化しつつある日本。そんななか、守谷市で世代間交流を行っているのが多世代交流サロン『つむぎ』です。サロンの立ち上げについて、代表の小澤道子さんは次のように振り返ります。

「きっかけは市民大学に参加したことでした。私の親世代の方々が積極的に、そして、なによりもみなさん元気に地域活動をされていて、そこでさまざまな世代の方とお話をしたり、相談したりするなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。とは

いえ、その反面、この

地域には、高齢者や小さいお子様を持つママさんなど、各世代が集まるサロンはありましたが、世代間交流を行うサロンやそのような場が少ないと感じたのも事実です。そこで、趣味としてやっ

ていた手芸をきっかけに、老若男女問わずに、さまざまな方が集まれるようなサロンができないか、と考えたのが始まりです」(小澤さん)

もともと、小澤さんは、守谷市の子育て講座に参加していた親が中心となったサークルに参加していたといいます。それが現在の『つむぎ』の母体となる、『はっぴーまうす』です。子どもたちがネズミ年だったことから、そう名づけられたといいます。

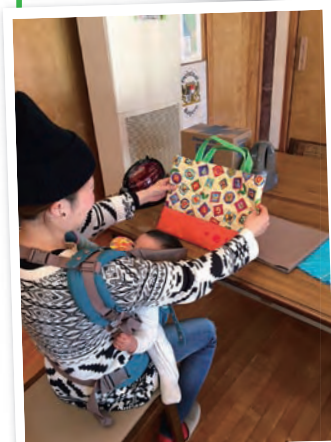
手しごとをきっかけにした交流の場を提供

『はっぴーまうす』に参加していたメンバーは、一歳未満の子どもを持つお母さんたちがほとんどでした。その後、子どもたちが幼稚園に入園するにあたり、『はっぴーまうす』で知り合った方々を中心に、一緒に入園グッズを作ろうと声をかけたのが始まりです」(小澤さん)

2016年10月、5名ほどの有志が集まり、手しごとサロン『つむぎ』を開催しました。いまでは、毎月1~2回ほど、手芸をはじめ保存食、パン、製菓など、季節に応じた「手しごとサロン」を実施し、老若男女を問わず、さまざまな方が参加し、交流を図っています。サロン開催の意義について、小澤さんは次のように語ります。



多世代交流サロン『つむぎ』の代表を務める小澤道子さん



入園グッズ製作では娘さんのための世界に1つだけのレッスンバックが完成しました



マスク製作の様子。自身お手製のマスクで記念フォト



パン作りでは、思い思いにデコレーションをしたオリジナルのリース風パンが完成



収穫したゆずを使ったゆずジャム講座。左奥が出来上がったゆずジャム、手前は先生お手製のゆずジャムを使ったゆずシフォンとそば茶プリン

『つむぎ』で行っている手芸や料理などの“手しごと”は、あくまで多世代交流のためのツールのひとつとして考えています。ねらいは、たとえば街ですれ違った際に、参加者同士や参加者と講師の方との交流が生まれたり、あるいは、子育てに悩んでいるお母さんが子育てを経験してきた世代の方に相談し、新たな知識が身につく、子どもに対する対応の気付きにつながったりすることにあります。

実際、参加者のなかに『最近娘が反抗期で悩んでいるんです…』など、お母さんが自分よりも上の世代で子どもの反抗期を経験してきた方に相談し、アドバイスを受けていたということもありましたね」(小澤さん)

しかし、小澤さんは『つむぎ』を運営していくにあたって、さまざまな悩みや葛藤があったといいます。

「私は、『単なるイベント屋にはなりたくない』という思いが強かったため、『つむぎ』のメンバーはもちろん、市民大学で知り合った方々に相談し、さまざまな方が参加し、交流を図るサロンをどのように運営していけばよいのか、そもそも講師の方をどのようにお招きすればよいのか、また、開催のため場所をどう確保するべきか、あるいは運営のために必要な資金はどのように調達すればよいのかなど、本当に多くの方々に助言やアドバイスをしていただきました」(小澤さん)

糸だけでなく、人も紡いでいくサロン

6月16日(金)に行われた『つむぎ』の「Tシャツヤーン※×麻紐バッグ作り」でもさまざまな方が参加し、ときには参加者同士で相談し合い、また講師の先生に指導を受けながら作業が進められていました。(※「Tシャツヤーンとは…古着のTシャツを細かくカットし、編み物などができるようにひも状にしたもの)

「サロン開催日には、ロックミシンや裁縫道具が置



先生に教えてもらいながら、麻紐バッグを仕上げていきます

いてありますので、参加者が自由に手しごとをしていただくことができます。もちろん、裁縫が得意な『つむぎ』のメンバーが参加者に教えることもありますよ」(小澤さん)

実際に、中学校以来ミシンを触っていないお母さんがサロンに裁縫キットを持参し、娘さんの体操着や上履き入れ、またレッスンバッグなどを作ったところ、娘さんがすごく喜んでくれたそうです。そのほか、「自宅にミシンはあるけどパワー不足で…」「裁縫はやったことないから、子どものために始めてみたい!」「みんなで楽しく裁縫をやりたい!」など、ミシンを利用する方の理由はさまざまですが、裁縫をきっかけに世代間交流が行われているといいます。最後に小澤さんは今後の活動について次のように語ります。

「守谷も郊外では、栗や柚子の木が育っているお庭も多いため、いただくことも多いのですが、家族の人数が少ないため、食べきれないご家庭もあります。そこで、こうした食べ物を使った昔ながらの保存食や、地域の方にご協力いただき味噌やキムチ作りなども旬を知り、食べ物でつながる。今後もサロンの名の通り、手しごとをきっかけに多世代交流が行われ、人の輪も紡ぎ、そして知恵の輪も広がってほしいと思っています」(小澤さん)

自分よりも上の世代の方に教えを受け、そしてその知識を下の世代へとつないでいく。「世代間交流」という言葉だけでは伝わらない人と人との関わり合いの重要性について、改めて考えさせられたサロンでした。



無事に時間内にバッグが完成しました!



「Tシャツヤーン×麻紐バッグ作り」の様子。みなさん真剣に作業を進めます

ふくしきらり人。

題字：岩田明日香



ふくし”きらり人。” 第1号に岩田明日香さんを任命しました。今後、”きらり人。”として仕事の魅力や楽しさを発信していきます！

初任命！ふくし”きらり人。”

岩田 明日香 さん

茨城県立古河第二高等学校 福祉科3年
特別養護老人ホーム 玉樹 アルバイト



4世代同居で感じた介護のこと

わたしは曾祖父母を含めた4世代で暮らしていて、小さい頃は曾祖父に連れられて出かけていました。そんな曾祖父も年を取るにつれ思うように歩けないようになって…祖母が介護をしているのですが大変そうな姿を見て、自分が少しでも力になればと思い、介護の勉強をはじめました。

福祉は奥が深い

「ありがとう」の一言がうれしい

福祉科では、認知症や障害の理解、介護保険制度に関する勉強をしています。座学以外にも、生活支援技術という授業でシーツ交換やおむつ交換の実技を学んでいます。そのなかでも、認知症に関する授業は実例を交えて教えてもらえるので好きですね。そのほかにも実習で現場を体験しますが、期間が空いたりするので、学んだことを忘れないように、施設でのアルバイトをはじめました。

はじめたばかりで掃除や洗濯が主な仕事ですが、「ありがとう」と言われると、やっていて良かったなと思います。

いまの目標は、社会福祉士取得

福祉の仕事を実際にやってみると、結構奥が深いと思います。学んでいるうちにいろいろなことが見えてきて、もっと深く知りたいなと思うことがたくさんあります。毎日の仕事の中で、自分の技術がどれだけ向上したか感じることもできるのも良いなと思います。福祉の仕事を目指すことを曾祖父に伝えたとき、ありがとうって言われた時はとても嬉しかったですね。



岩田さんのように、福祉に真面目に取り組んでくれる子が来てくれたことはとても嬉しい。まさに“きらり人。”！技術的なことも、もちろん大切ですが、アルバイト期間は、面白い事を見つけたり、一緒に楽しむ事を先輩たちから学びながら、利用者と向き合うという、この仕事で最も大事なところも経験して欲しいと思っています。



特別養護老人ホーム玉樹
法人本部本部長 吉川さん



県立古河第二高等学校
校長 田沼さん

福祉科での勉強は普通科などと違って実習やレポートの提出なども多いです。本校の福祉を学ぶ生徒は、先輩とのコミュニケーションが活発で、相対的にコミュニケーション能力が高くなっていると思います。明日香さんには、会話が楽しい、お世話をすることが楽しいという気持ちをもって、現場に出てほしいですね。そして、ありがとうという言葉をいっぱいもらえるように頑張ってもらいたいと思います。

★★★ふくし” きらり人。” 募集中！ ホームページで確認！ ★★★



常総市社協の深谷さんからリレートークの話をいただきました。楽しい話をとのことですがなかなか楽しい話も、趣味もなく話すことがありませんが、個人的なことを含め感じていることを書いてみようと思います。

家族は5人家族ですが、現在は2人暮らしです。社協に就職して、結婚をし、2人の娘と息子に恵まれ3人合わせて12年間保育園に通いました。私は、産むだけの人で子ども達は保育園とおばあちゃん達と地域に育ててもらいました。仕事で子育て支援の事業に関わると、自分も子供たちを連れて毎日公園に行ったり、図書館に行ったり、サロンに行ったりしたかったな、と思うことがありました。子供たちが小学生の頃は、「あそこのおばあちゃんがね・・・」とか「この家のおじちゃんがね・・・」って話してくれて、職場と家の毎日の生活



の私には、地域のことは子供に聞くとすぐわかるなど感じる事が多々ありました。

そんな子供たちが結婚、就職、大学生と3人とも家を離れ2人暮らしとなり、にぎやかな生活から静かな生活となり、ついこの間、15年間家族として家にいてくれたラブドール犬が亡くなりました。このようなことが続くことで老人性鬱になるのかなと思います。

義母が脳梗塞で入院、実家の父が要介護1の認定を受け、親の介護をする立場になりました。地域福祉が仕事だけの話ではなく、自分の身にも間近に迫っていることを実感しているこの頃です。

よく「自分が10年後、20年後に住みよい地域にするにはどうしたら良いか考えたら、今何をすべきかわかるはず。」などと言われますが、私の身に起こっていることから、高齢者の居場所があったらいいな、地域の役に立てる場所や活動できることがあったらいいな、とつくづく感じています。今からでもできることをやっておこうかな、そうしたら定年後スムーズに地域に入っていけるかなと思います。ありきたりの話になってしまいました。

次号は、結城市社協の赤羽さんにお願いました。地域に出ていることが多くほとんど事務所にいる事はないようで、楽しい話しがたくさんありそうです。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

INFORMATION

お知らせ 第67回社会福祉大会を開催します!

社会福祉大会は、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功績のある方々を顕彰し、「だれもがその人らしく安心して暮らせる福祉社会」を推進する契機として開催しています。

- 開催日時：11月8日(水) 12時10分開会
- 会場：常総市地域交流センター「豊田城」
- 内容：式典、記念講演、アトラクションなどを予定しております。



昨年の大会の様子

問 総務企画部 TEL：029-241-1113

お知らせ サロンコンサートを一度、見にきませんか

総合福祉会館 1階県民サロンにおいて、毎月ボランティア演奏家による「サロンコンサート」を無料で開催しています。

懐かしい名曲やクラシックなどをお聴きいただけます。

お昼のひとときを総合福祉会館でお過ごしになってはいかがでしょうか。

- 開催日時・内容・出演者：
10月3日(火)
12時10分
大正琴&悠弓
琴城流柴田琴水会

- 会場：
茨城県総合福祉会館
1階県民サロン
(水戸市千波町 1918)

問 茨城県総合福祉会館
TEL：029-244-4545



募集 きずなBOXを設置しています!

生活困窮者支援団体等が安定的に食品を確保できるようにするため、NPO法人フードバンク茨城と連携し、茨城県総合福祉会館の1階に「きずなBOX」を設置しています。

家庭で余っている食品を「きずなBOX」に持ち寄っていただき、集められた食品などをフードバンクが回収し、福祉団体や施設、市町村社協を通じて生活困窮家庭などに配分しています。皆様のご協力をお願いいたします。

■食品などをお持ちになる際の注意事項

- *食品は常温管理できるもので未開封、賞味期間が2か月以上残っているものをお願いします。
- *生活困窮者への支援に必要な、缶詰・レトルト食品などすぐに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。



寄付された食品



1階に設置しているきずなBOX

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館のコミュニティホール(定員296名)や各種研修室は、一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しておりますので、ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館

検索



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548

わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

平成29年5月～平成29年7月 善意金等の預託と払い出し状況（敬称略）

交通遺児福祉基金

預託者名	金額（円）
一般財団法人 関東陸運振興センター	1,000,000
合 計	1,000,000

善意金

預託者名	金額（円）
茨城県遊技業防犯協力会	1,500,000
住友林業(株)安全協力施行店会水戸支部	39,303
合 計	1,539,303



日産プリンス茨城販売(株)



関東陸運振興センター



茨城県遊技業防犯協力会

善意品

預託者名	善意品	払出先名
日産プリンス茨城販売(株)	車いす 10 台	県内社会福祉施設
一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会	シルバーカー 1 台	県社協

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名
新井 清／(株)常南部品商会／高柳美智子／森の石窯パン屋さん／茨城労働局 労災補償課／いはり園／NPO 法人 茨城県ケアマネジャー協会／きらら館 岡部雄一／(株)三共建設 水戸営業所／茨城県（保健福祉部長寿福祉課、保健福祉部 子ども家庭課）／社会福祉協議会（土浦市、茨城町、かすみがうら市、常陸太田市、大子町、水戸市、八千代町、小美玉市、城里町、石岡市、牛久市、つくばみらい市、笠間市、常陸大宮市、筑西市、龍ヶ崎市、桜川市、神栖市、つくば市、日立市）

